

グラフで見るベトナム経済 2025年7月号(No. 186)

2025年4～6月期のベトナムの実質GDP(国内総生産)は前年比+8.0%と、前期に比べて成長率が高まった。一方で、直近6月の指標をみると、景気回復の動きが鈍っている様子がうかがえる。まず、小売売上高は前年比+8.3%と2か月連続で伸びが鈍化し、個人消費は鈍い動きになった。また、米国向けの減速などから、輸出は同+16.4%と高水準ながら2か月連続で伸びが低下した。さらに、製造業PMI(中立水準は50)は48.9と前月を下回り、製造業の景況感が弱含んでいる。内訳をみると、海外向けの「新規受注」の低下などが目立つ。

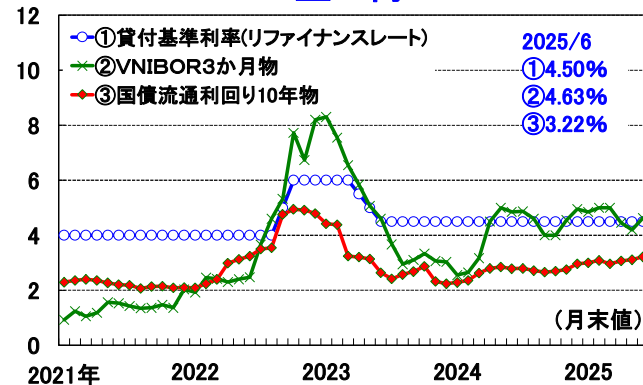
【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	⇒	⇒	⇒	⇒	⇩

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

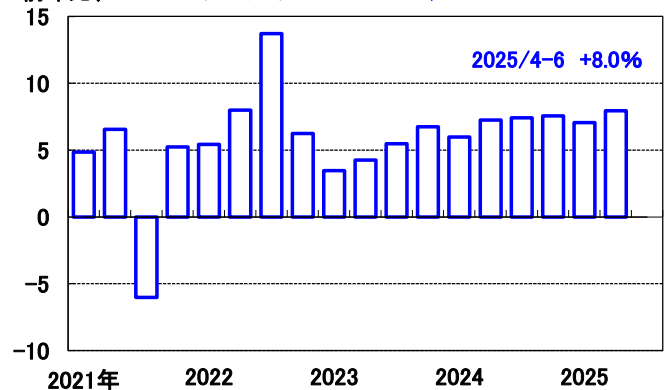
年利、%

金利



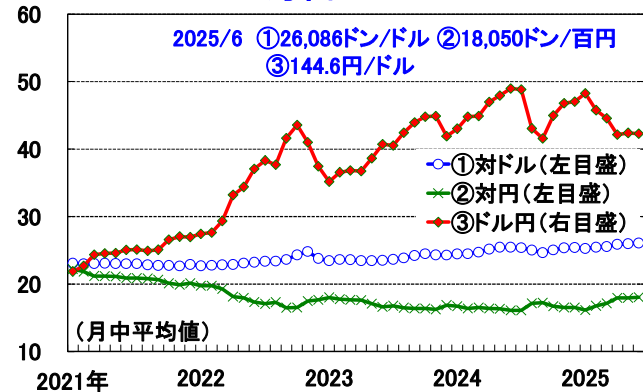
前年比、%

実質GDP成長率



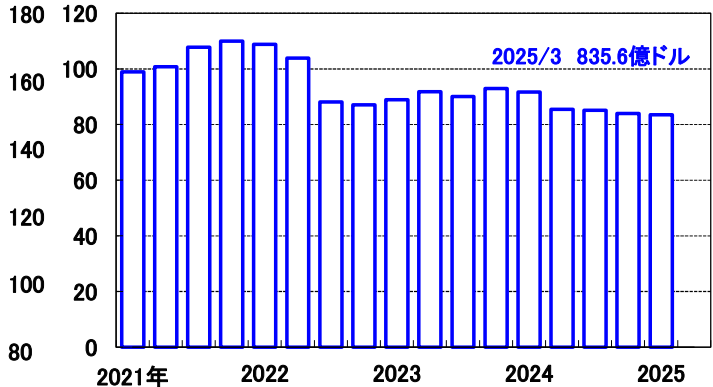
千ドン

為替レート



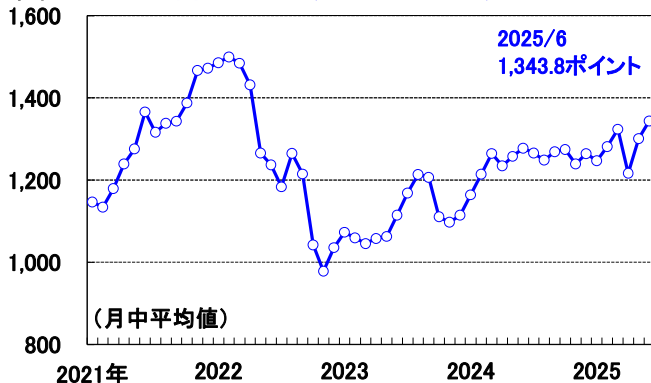
円 10億ドル

外貨準備残高



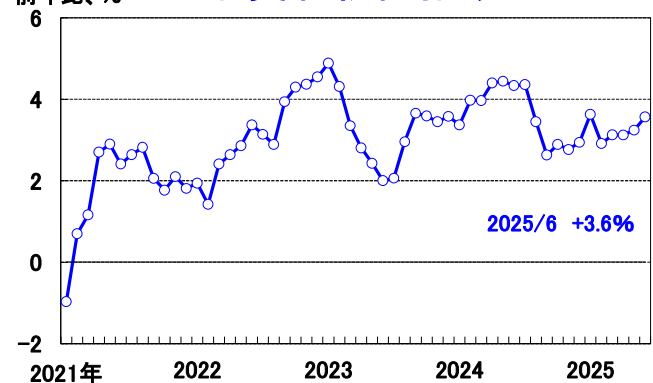
ポイント

株価指数(VN指数)



前年比、%

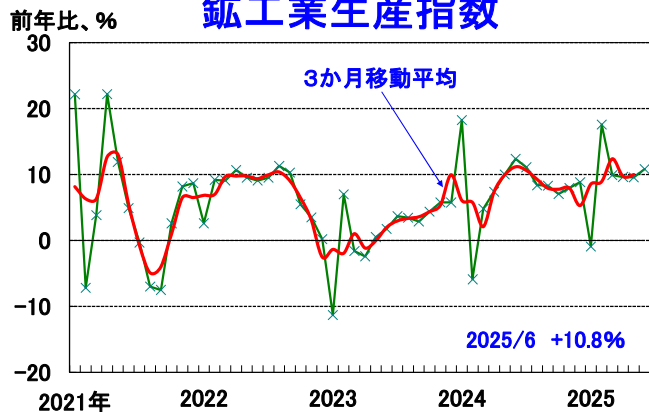
消費者物価指数



(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

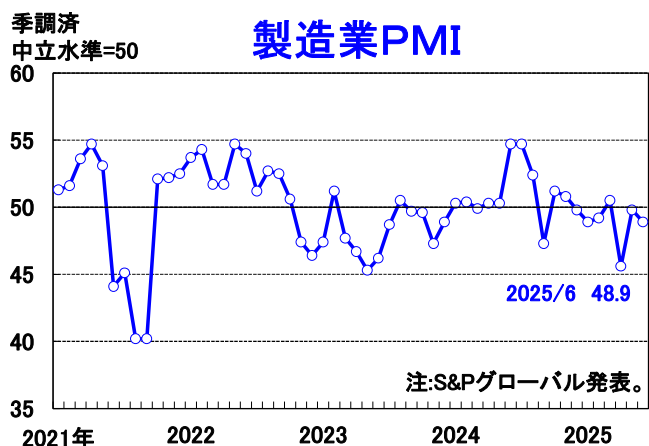
鉱工業生産指数



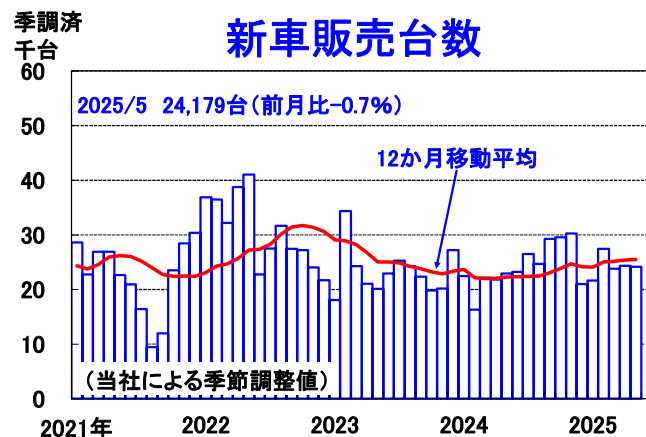
小売売上高



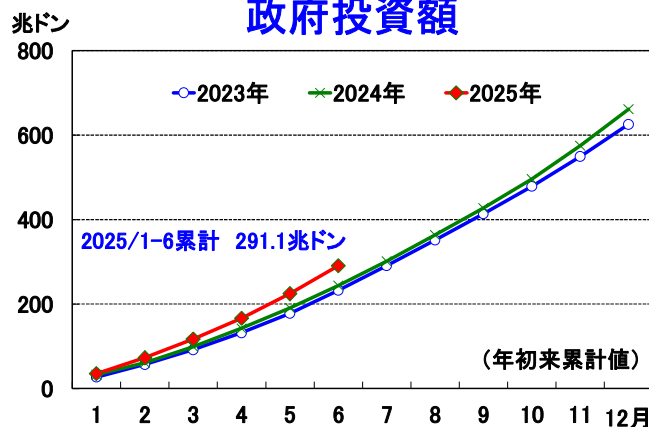
製造業PMI



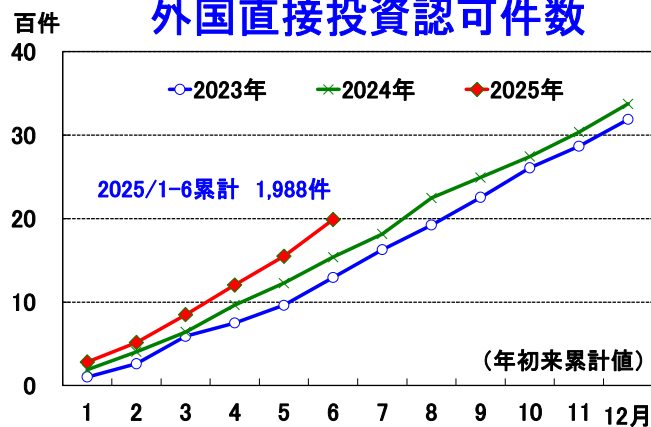
新車販売台数



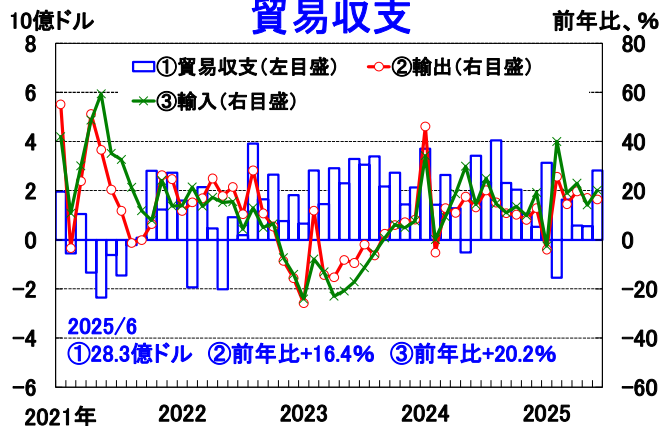
政府投資額



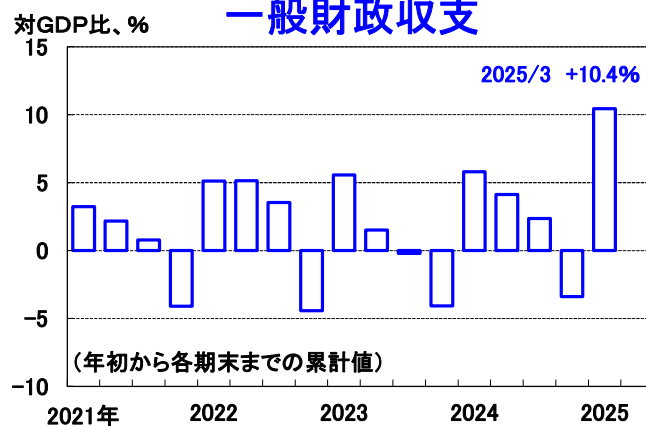
外国直接投資認可件数



貿易収支



一般財政収支



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。